



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



入賞おめでとう！中番児童の頑張りに心から拍手！！

－ Change（変革）,Challenge（挑戦）,Continue（継続）－

昨日は、令和4年度になって2回目の朝会をしました。そして、スポーツ少年団野球部、兵庫リレーカーニバルの二つの表彰をしました。スポーツ少年団野球部は市内大会3位、兵庫リレーカーニバル6年男子100m3位の表彰でした。朝会で子供達に「この表彰の3位は、すごいこと？」「どう思う？」と投げ掛けてみました。子供達はきょんとしていました。すごいことにきまってる、市内大会は・・・、県大会は・・・、保護者の皆様は、どう思われますか。ご自身も今までに、小学校、中学校、高校、大学、社会人で、スポーツをされたり、文化的な面で各種大会に臨まれたりされたご経験がある方もおられると思います。私も市内のスポーツ少年団の少女バレーボールに携わったことがあります、市内8校の中で入賞することの難しさはよく分かります。また、兵庫リレーカーニバルに児童を連れて参加したことがあります、入賞することの難しさもよく分かります。つまり、**どちらも、そう簡単には手に入れることはできないものだということです。**少し考えればそのことはすぐに気づくことです。市内スポーツ少年団のどのチームも勝利を目指し、頑張って練習を積んでいます。監督、コーチの方々にとってもスポーツである以上、勝つことも大切な要素の一つだと思います。新聞や報道にあるような勝利至上主義とは当然違った意味としてです。どのチームの選手も日々、何らかの努力をし、チームで目標を決め、力を合わせて戦っているのです。そのような中で、凌ぎあい、技を出し合い、力を出し尽して戦っているのです。そのような状況の中で、1番、2番、3番になることが、どれほど難しいことかは、容易に想像がつかます。また、陸上でも小野市の1番、2番の選手だからといって、県の

大会で入賞できるかと言えば必ずしもそうではないということは明らかです。学級の1番、2番が、学校の1番、2番にはなれない、学校の1番、2番が市の1番、2番にはなれない、市の1番、2番が県の1番、2番にはなれない現実があります。その状況を見ると、大会で入賞、表彰されることが如何に難しいかということが分かるのです。更に、力があつたからといって絶対に勝てるという保証もありません。なぜなら、試合当日の暑さや寒さ、晴れているのか、雨なのか、体調が優れているのかいないのか、自分だけではなく仲間の体調はどうなのか、様々な条件、状況が幾重にも幾重にも重なり合ってくるのです。そのような複雑な状況の中で、自分の力をしっかりと十分に出しきること、いつもの自分を維持する精神力等、屈強な心と体が大切になってきます。自分の力、仲間の力を総合的に大きくすることができた時、結果もついてくるのだと思います。ですから、**子供達のこの成績は、頑張りは、本当に素晴らしい、何事にも替え難い価値のある勲章であると思います。正に賞賛に値するものなのです。**そして、これは何もスポーツだけに限ったことではありません。芸術の分野でも、学習の分野でも、様々な分野で言えることなのです。「やったらできるのに・・・」こんな言葉を聞くことがあります。「何かをやったら、何かに入賞できる？」そんなことはありません。取り組みれば何が分かるのか。それは**取り組みれば自分の力が分かるのです。自分の力が分かれば、次の一步を踏み出す為に何が出来るか、何をしなければならないかを考えることができるのです。それを見つけ、次の行動を起こすことができるのです。**

今週末（4月29日）は、学習参観日並びに引渡訓練となっております。ご参加については、感染対策への保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。また、児童の朝の検温、体調管理等、感染症対策についても引き続きよろしくお願い申し上げます。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と相互に連携し、「**明日も行きたい！学びたい！学校**」を目指し、教育活動を進め、共に歩んでいきます。